



静岡市概要

人口（住民基本台帳+外国人登録）

面積	男
総面積	三五二・二五八人
葵区	三七三・六七六人
駿河区	二九四・二八三世帯
清水区	一、四二・八一 km ²
	一、〇七三・四二 km ²
	一、七二・八九 km ²
	一、四一・四七 km ²
(平成二十年十二月末現在)	世帯

静岡市自治会連合会					
静岡市葵区自治会連合会		静岡市駿河区自治会連合会		静岡市清水区自治会連合会	
地(学)区名	自治会数	地(学)区名	自治会数	地 区 名	自治会数
青葉	17	賤機南	5	辻	11
新通	23	賤機中	3	江尻	20
駒形	18	賤機北	5	入江	17
一一番町	16	服織	12	馬渕	17
三番町	14	服縫西	2	大里西	14
田町	15	南豪科	6	中島	6
安西	12	中豪科	6	大里東	5
城内	22	安倍口	8	宮竹	7
伝馬町	19	美和	5	富士見	14
横内	14	足久保	10	西豊田	25
安東	24	松野	3	東豊田	4
城北	11	井川	16	東源台	13
龜南	11	大河内	7	大谷	9
千代田	15	梅ヶ島	9	久能	6
千代田東	12	玉川	23	長田北	6
西奈	22	満沢	14	長田東	11
西奈南	6	大川	9	長田西	45
北沼上	3			川原	11
麻機	12			長田南	7
井宮	7				
井宮北	8				

防災対策委員会

総合防災訓練について討議されました。これは、平成十四年よりわれています。

「地域防災訓練の日」として、十二月七日（日）に地域と行政が一体となりた防災訓練が行われました。





専門委員会の 実施経過



福祉・環境対策委員会

総合防災訓練について討議されました。これは、平成十四年よりわれています。

「地域防災訓練の日」として、十二月七日（日）に地域と行政が一体となりた防災訓練が行われました。



総合防災訓練
について

また、今年度の交通安全運動
平成十九年度に引き続き「あなたの
主役の交通安全県民運動」
～安全は自らうちから地域
から～といふ統一スローガン
を掲げていくことを確
認しました。



交通安全・防犯対策委員会

教育対策委員会

役員紹介

役員紹介

〈葵区自治会連合会〉



静岡市自治会連合会事務局

住所 静岡市葵区追手町5番1号
静岡市役所新館15階

TEL 054-221-1568
FAX 054-221-1568

静岡市自治会連合会事務局
住所 静岡市葵区追手町15番1号
静岡市役所新館15階
☎ 054-221-1568
FAX 054-221-1568

自治会・町内会の活動紹介

葵区の活動紹介

市街地と山間地との共生を

中山間地は高齢化や後継者不足による就業者減少などの厳しい現況に直面し、山間地を結ぶ幹線道路の整備の遅れは生活基盤を弱体化し様々な面で都市部との格差を招いています。これらを解決し環境を重視した反転の可能性を模索していくことが今後の課題と言えます。茨城では、市街地と山間地との共生問題に取り組み、その一環として7月に現地視察を行いました。またブログを開設し各地域の情報を発信し、地域活性化に向け取り組んでいます。



静岡市・身延町交流イベントの様子



駿河区の活動紹介

快適で住みよい駿河区づくり

駿河区では、安心・安全で「明るいまちづくり」を進めています。今後、夜間の犯罪や交通事故防止のため、更に街路灯(防犯灯)の設置に努めてまいります。以前、区内の小学生に住んでいる街の危険な場所を調査したところ、多くの生徒が「暗い所」を指摘しました。住民が安心して暮らせるよう、ハード・ソフト両面で「明るいまちづくり」を、町内会として積極的に取り組んでまいります。

清水区の活動紹介

情報ネットワークを生かして

清水区自治会連合会は由比町の合併で21地区となり、自治会長数292名、隣組数6,426名となりました。清水区自治会連合会の特徴は、情報ネットワークが完成されていることです。毎月8日の常任委員会の決定事項は、10日後の18日には単位自治会長を経由し、6,426名の組長に確実に伝達されます。自治会活動にとって何よりも重要なことです。又どこでも地区祭りを実施しています。お祭りは昔から「和」の醸成に役立って来たからです。

由比地区の紹介

新しい由比のまちづくり

由比宿と興津宿との間に横たわる薩埵峠からの眺望は、秀麗な富士山が目の前に見える名勝地となっています。



由比本陣公園・東海道廻雨美術館

- | |
|--------------------------------|
| 薩摩・鍋島の主な出来事 |
| 1568年 今川・武田・織田連合による土岐・三河侵攻 |
| 1569年 武田・北条・今川連合による甲斐侵攻 |
| 1655年 朝鮮通信使の通行を機に、薩摩に中道開削 |
| 1744年 薩摩藩に「さつたぢそみち」(そのまま)の碑建立 |
| 1855年 薩摩山下の海岸地震で隆起 |
| 1889年 東海道線開通により通行者激減する(地方道となる) |

